

# インマヌエル中目黒キリスト教会 聖日礼拝・2007. 11. 11.

メッセージ  
イザヤのメッセージ (2)  
「平和の支配」

イザヤ書2章1-5節  
竿代照夫牧師



聖書朗読

新約聖書  
イザヤ書2章1-5節

1 アモツの子イザヤが、ユダとエルサレムについて示された先見のことば。

2 終わりの日に、主の家の山は、山々の頂に堅く立ち、丘々よりもそびえ立ち、すべての国々がそこに流れて来る。

3 多くの民が来て言う。「さあ、  
主の山、ヤコブの神の家に上ろ  
う。主はご自分の道を、私たち  
に教えてくださる。私たちはそ  
の小道を歩もう。」それは、  
シオンからみおしえが出、  
エルサレムから主のことばが出  
るからだ。

4 主は国々の間をさばき、多くの国々の民に、判決を下す。彼らはその剣を鋤に、その槍をかまに打ち直し、国は国に向かって剣を上げず、二度と戦いのことを習わない。

5 来たれ。ヤコブの家よ。私たちも主の光に歩もう。

説教

イザヤのメッセージ (2)

「平和の支配」

イザヤ書2章1-5節

竿代照夫牧師

主テキスト：

「彼らはその剣を鋤に、その槍をかまに打ち直し、国は国に向かって剣を上げず、二度と戦いのことを習わない。」

(イザヤ2:4)

## A. 第2章の概観

### 1. 序言（1節）

### 2. 平和の福音がエルサレムから 世界に広がる（2—5節）

### 3. イスラエルにはびこる 偶像礼拝（6—9節）

### 4. 高ぶるものへの審判 （10—18節）

### 5. 神の審判の厳しさ （19—22節）



## B. 平和の福音（2-5節）

### 1. ミカ書4章との類似

（次ページからの対照表を参照）

ミカ書4章との類似 No. 1

イザヤ2章	2節
	終わりの日に、主の家の山は、 山々の頂に堅く立ち、 丘々よりもそびえ立ち、 すべての国々がそこに流れて来る。
ミカ4章	1節
	終わりの日に、主の家の山は、 山々の頂に堅く立ち、 丘々よりもそびえ立ち、 国々の民はそこに流れて来る。

ミカ書4章との類似 No. 2

イザヤ2章	3a節
	多くの民が来て言う。 「さあ、主の山、 ヤコブの神の家に上ろう。 主はご自分の道を、 私たちに教えてくださる。 私たちはその小道を歩もう。」
ミカ4章	2a節
	多くの異邦の民が来て言う。 「さあ、主の山、 ヤコブの神の家に上ろう。 主はご自分の道を、 私たちに教えてくださる。 私たちはその小道を歩もう。」

ミカ書4章との類似 No. 3

イザヤ2章	3b節
	それは、シオンからみおしえが出、エルサレムから主のことばが出るからだ。
ミカ4章	2b節
	それは、シオンからみおしえが出、エルサレムから主のことばが出るからだ。

ミカ書4章との類似 No. 4

イザヤ2章	4a節
	主は国々の間をさばき、 多くの国々の民に、 判決を下す。
ミカ4章	3a節
	主は <u>多くの国々の民の間</u> をさばき、 <u>遠く離れた強い国々に</u> 、 判決を下す。

ミカ書4章との類似 No. 5

イザヤ2章	<p>4b節</p> <p>彼らはその剣を鋤に、その槍をかまに打ち直し、 国は国に向かって剣を上げず、 二度と戦いのことを習わない。</p>
ミカ4章	<p>3b節</p> <p>彼らはその剣を鋤に、 その槍をかまに打ち直し、 国は国に向かって剣を上げず、 二度と戦いのことを習わない。</p>

ミカ書4章との類似 No. 6

イザヤ2章	(対応句なし)
ミカ4章	4節 彼らはみな、 おのおの自分のぶどうの木の下や、 いちじくの木の下にすわり、 彼らを脅かす者はいない。 まことに、万軍の主の御口が 告げられる。

ミカ書4章との類似 No. 7

イザヤ2章	(対応句なし)
ミカ4章	5a節 まことに、すべての国々の民は、 おのおの自分の神の名によって 歩む。
イザヤ2章	5節 来たれ。ヤコブの家よ。 私たちも主の光に歩もう。
ミカ4章	5b節 しかし、 <u>私たちは</u> 、 <u>世々限りなく</u> 、 <u>私たちの神</u> 、 <u>主の御名によって歩も</u> <u>う</u> 。



①イザヤがミカに倣ったのか？

②ミカがイザヤに倣ったのか？

③双方が共通の資料に  
倣ったのか？

いずれにせよ、戦国時代の預言者  
たちの共通のメッセージが  
平和であった

## 2. 福音の要点

- ① 普遍的礼拝（2節）：  
諸国民が礼拝のためエルサレム  
に集まる  
＝狭い民族主義の克服
- ② 普遍的な教え（3節）：  
諸国民が御言を学び、帰依する

③普遍的な平和(4節)：

争いの終焉と武器の放棄  
(日本国憲法9条の精神)

④模範たるべきイスラエル(5節)：

イスラエルが平和社会の  
リーダーたるべきだが、  
現実には？

### 3. この実現は何時のことか？

「末の日に」(日々の終わりに)とは、  
預言的な終末(切迫している未来)

具体的には

①アッシリアの敗北で

齎される平和

②メシヤ出現によって誕生する

平和の王国

③「千年王国」

終わりに

1. 現実の騒乱に失望せず、  
希望を持って進もう
2. 平和の創造者となろう

## アッシジの聖フランチェスコの〈平和の祈り〉

ああ主よ、わたしをあなたの平和の道具にしてください。  
憎しみのあるところに、愛をもたらすことができますように。  
争いのあるところにゆるしを、  
分裂のあるところに一致を、  
疑いのあるところに信仰を、  
誤りのあるところに真理を、  
絶望のあるところに希望を、  
悲しみのあるところに喜びを、  
闇のあるところに光をもたらすことができますように。  
ああ主よ、わたしに、  
慰められるよりも、慰めることを、  
理解されるよりも、理解することを、  
愛されるよりも、愛することを求めさせてください。  
わたしたちは与えるので受け、  
ゆるすのでゆるされ、  
自分自身を捨てることによって、永遠の命に生きるからです。

アーメン